

IDLディレクトリはOpenRTP自身も持ち、新しいシステム環境変数で管理させる

2015/12/24 18:41 - n.kawauchi

ステータス:	却下	開始日:	2015/12/24
優先度:	通常	期日:	
担当者:		進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
<ul style="list-style-type: none">• OpenRTPのマージモジュールを作成する際は、IDLディレクトリをチェックアウトして自身に組み込むようにし、このパスは新しいシステム環境変数OPENRTP_IDL（仮称）で管理させる• RTCBuilderがデフォルトで利用するIDLのパスは、RTM_ROOTとOPENRTP_IDLの両方をチェックする			

履歴

#1 - 2016/03/04 14:38 - n.kawauchi

- ステータスを新規から却下に変更

- 進捗率を0から100に変更

本チケットは、OpenRTM-aist1.1.2版のmsiを以下の構造で検討していた時点のもの。
インストールオプションでPythonとツールのみ選択された場合等を考慮して検討したもの。
最終的に全てOpenRTM-aist/1.1.2下へインストールすることになったので、対応の必要がなくなった。

```
OpenRTM-aist
  1.1.2_vc9
  1.1.2_vc10
  1.1.2_vc11
  :
```